

手を洗おう会 aphw 会報



第六回 世界の子供絵画展 テーマ：わたしの夢

最優秀賞： 日本 Sapporo Conservatoire
札幌コンセルヴァトワール 小川 幸彩さん (10 歳)

第七版 2010年5月発行



はじめに

—JICA 青年協力隊に支援金を開始—

— 古屋 典子 —

桜の時期を楽しんだのも束の間、2010 年もあっという間に梅雨を迎えようとしています。本年度は長い間、懸案となっていた「開発途上国で活動する若者を支援したい」という会の思いが実現いたしました。JICA の白井健道氏のご協力のもと、海外で活動する衛生支援に携わる協力隊から支援金の応募を致し、エクゼクティブスタッフが詳細を質疑応答した後、セネガルとベトナムで活動する青年協力隊お二人が合格しました。

一人は小学校教諭の岩井久根さん、もう一人は看護師の中川幸恵さんです。お二人が任国の活動期間の後半の一年間に、学校や保健所などそれぞれの活動の場で、まだまだ行きわたっていない「手を洗う」行為を通して、担当する人々に手洗い指導や衛生向上に向けて努力をしてくれる予定です。皆さまから集まる会費や寄付金を、コレラや赤痢からの防御のために有効に活用してくれ、一人でも多くの人を重い病気から守れたらと願います。来年任期を終えて帰国するときには、お二人から皆様に嬉しいご報告が聞けることを期待いたします。



—若者との一期一会—

帰国して一年が過ぎ、東京で若い方々にお目にかかる機会も多くなりました。驚くのは、30代、40代の皆さんが地球に良いこと、社会貢献できることを真剣に考えていることです。世界を変えるデザイン展というミッドタウンのイベントでは、アフリカの子供たちの水運びを楽しむタイヤのような形の容器、それをコロコロ転がしながら家まで運ぶもの—など多くの展示物のほとんどが上記のコンセプトにより生まれたものでした。企画した方々も20代、30代の方、前向きで柔軟性に富んでいる若者に大いなる刺激を受けました。

「手を洗おう会」もこれからは、若い方々にエネルギーを頂き、多くのことを協力し合いながら前進していけたらと感じました。



— 目次 —

- p1 : はじめに
- p2 : 駐日セネガル大使夫人からのメッセージ
- p3 : 澤村さち子さんの訪セの報告
- p4 : 々
- p5 : 2009年の活動をふり返って
- p6 : 2009年度の優秀絵画の紹介
- p7 : 2010年 催しもののお知らせ, 年会費のご案内
- p8 : 2010年 カルチャー活動のお知らせ, 子ども絵画募集
- p9 : 会計報告 (2009年1月~12月)

編集：杉浦保子、村上範子

残念！！駐日セネガル大使御夫妻離任

クリスティアンヌ・サル大使令夫人からのメッセージ



日本を離れる日を目前に控え、一言述べさせていただきます。

まずこの場をお借りして述べたいことは、セネガルが大変保健衛生分野を重要視しており、子供たちの衛生向上のために「手を洗おう会」が行っている活動が、非常に有益であることです。同会設立の目的は、現地の文化や伝統を尊重しながら、乳幼児を恒久的に見守ることを奨励することにより、セネガルに関しては、これまでに4,000名以上の小学生が石鹸、タオルや洗剤などの供給の恩恵を受けることができました。古屋典子代表、内野訓子氏をはじめ、会で活躍されている皆様には心から感謝の気持ちを申し上げます。

そして、「手を洗おう会」は、手洗い教育以外にも、子供たちの絵画展、茶道、書など様々な活動を通じて文化交流活動も奨励しています。そのような、会の交流活動も称賛いたします。

私の日本滞在中に、日本人の友人がある言葉を教えてくれました。それは「余韻」という言葉で、「時は過ぎても思い出は残る」ということを意味するそうです。本当に沢山の良い思い出と共にわたしは帰国します。セネガルに戻っても、二国間の助け合いと、友好の関係を続けていくために、皆様の会に喜んで協力させていただきたいと思います。

最後に、「手を洗おう会」の更なる繁栄と活動の発展を願うと同時に、人々がお互いに団結し、少しでも世界から伝染病が減少し、衛生状態が改善されることを切に願っております。Bravo（ブラボー）、au revoir（さようなら） et longue vie（末永い活動を） à l'association « le lavage des mains »（手を洗おう会よ）！

2010年5月27日

クリスティアンヌ・ルネ・ヴィラスコ・サル

セネガルでの活動報告

皆さんこんにちは。昨年の暮れ、「手を洗おう会」の会員となった澤村さち子と申します。2009年2月のフローランスさんのセネガルでの活動視察に引き続き、わたしも同年11月に、セネガルに行くチャンスに恵まれ、その後の活動を視察してまいりました。わたしが今回訪問した小学校は、前回の会報でも紹介されていたリベルテ・サンクで、「手を洗おう会」が最初に活動を行なった学校です。生徒数は451名の、中規模の小学校です。この学校で石鹼及び手洗い用具一式(5年に一度新しいものを購入)の授与式が行なわれました。



<リベルテ・サンク校舎>



<寄贈された石鹼及び手洗い用具一式>

「手を洗おう会」の貢献

ダカール郊外の4校の校長先生の同席のもと「手を洗おう会」からの石鹼の授与式が行なわれました。先生方はわたしたちの活動に大変感謝の意をあらわされていました。というのも、「手を洗おう会」によって始められた手洗い指導は、子供たちを通じ、学校ばかりではなく家庭でも浸透されるようになり、最終的には地域全体で普及されるようになったからです。また、地域への普及ばかりでなく、子供から両親、兄弟など異なる世代間においても普及の輪が広がり、「手を洗おう会」の活動の影響はそういった意味で非常に大きいものです。

日本と異なる手洗い様式

ところで、寄贈された品物の中にやかんや大きなたらいなど、日本の手洗い様式では見かけないものが並んでいたのも、どのように子供たちが手を洗うのかちょっとデモンストレーションをしてもらいました。やかんに水を入れ、水をかけながらたらいの上で手を丁寧に洗っていました。何故このようにやかんを使用して洗うのか疑問に思ったので、先生に尋ねてみると、貴重な水を無駄にしないためと説明してくれました。

手の乾燥法

前回のフローランスさんの視察報告でも指摘されていたように、手洗い後の濡れた手の乾燥の仕方は、リベリテ・サンクにおいても問題になっていました。教員の方のお話では、以前は手を拭く布が備えられていましたが、不衛生な使用法なので、結局取り外されたそうです。今は、子供たちは手を濡れたままにしているか、あるいは個人的に手拭を用意しているそうです。

カナクラの近況

「手を洗おう会」の衛生向上への新しい進歩、それはドクター・ヴォネール発明のカナクラ導入です。そのカナクラはまずナフィサト・ニャン小学校に設置されました。前回のフローランスさんの視察時には、6台装置され、その後6台あらたに装置され、合計12台が同校に設置されました。今回同校を訪問し、カナクラを視察することは、時間の都合上できませんでしたが、カナクラのその後を「手を洗おう会」セネガル支部長のマムール・ディオン氏に尋ねてみました。すると、カナクラが子供たちのおもちゃとなり、なんと一週間たらずで壊されてしまったということでした。その結果、鉄のバルブが破壊された6台と2台のカナクラをあわせ、8台が学校から撤去されることになりました。残念ながらできごとではありますが、その反面、ドクターは、より耐久力のあるバルブに交換したり、カナクラ内を錆から守るために、もっと質のよいペンキに変えたり、さらなる改善を試みることというので、カナクラが生まれ変わる良いきっかけになったともいえます。また、「手を洗おう会」側も、今後の対策として、修理後は、同校には再設置せず、生徒がより規律正しく教育されている学校リベリテ・シスに設置する予定です。

セネガル学校訪問の感想

はじめてセネガルの小学校を訪問させていただきましたが、セネガルの小学校は衛生面以外にも様々な問題を抱えていることが分かりました。特に、子供たちが使用する文具用品不足

(例 年間ノート一人一冊のみ)、校舎の老朽化による雨漏り(図書館の本の破損)・安全性(防犯)の問題など深刻です。問題は山積していますが、まずは現実に目を向けることが問題解決の第一歩ではと実感いたしました。今後も訪セを重ね、「手を洗おう会」の皆様をはじめ、出来る限り多くの日本の方々にセネガルの現実を伝えることができればと思います。



2009年度の活動を振り返って

2009年 冬の祭典

12月2日（月）当会恒例の冬の祭典がウェスティンホテルにて開かれました。毎年の事ながら、土屋さんの流暢な司会と共に会が進行しました。今年は会員待望の子供絵画を載せたカレンダーを作成しましたので、ランチの1時間前からカレンダーの先行販売を行ったこともあり、売れ行きがなかなか好調でした。

同時にマティ夫人よりセネガルのターバンの巻き方を披露。部族により巻き方が違うとのこと、若い出席者がモデルになって下さり、右写真のようにはじめて知るセネガルの伝統的ターバンはとても新鮮でした。

12時にはランチが始まり、沼尻シェフの腕によりをかけたフランス料理を堪能しながら参加者は思い思いに友人たちと会話を楽しみました。お料理が次々に出され、デザートが運ばれる頃には今日のメインイベントのフラダンスと、日本の古典の端唄と日本舞踊のコラボレーションが披露されました。フラダンスもそれぞれの方の流れるような動きで素晴らしかったですし、初めて耳にする端唄と三味線の音色のコンビネーションには皆さんうっとり聞き惚れていました。

終了間近にバザー開始。参加者の皆さん、「待っていました」とばかりに夫々の売り場へ一目散。希望の品を手にして満足そうな表情で三々五々帰途に着きました。セネガルの伝統衣装の一部を見ることもできた2009年度の祭典は、この度も盛況の中、無事に終える事ができました。

前田 一

二胡コンサート

2009年6月15日「手を洗おう会」の今年の文化活動は会員の浦城様のご紹介で中国の国立中央音楽院で二胡の教授をしている馬向華（マ・シャンファ）さんをお迎えしてのコンサートを催しました。馬さんは数々の国家行事での演奏はもとより、英国ロイヤルフィルハーモニーやロシアフィルハーモニーとの共演や、イタリアのフニーチェ歌劇場での演奏など海外での活躍も目覚ましい方です。

この度のコンサート会場は、大倉山音楽堂は昭和初期に建てられたロココ調のどっしりとした建築で、クラシックコンサートにぴったりの素晴らしい空間、90人以上の方々にお集まりいただき二胡の音色に時の経つのを忘れ、楽しい一時を過ごしました。

「空山鳥語」という曲は、深山に聞く鳥たちの声を天空で聞いた様な美しい音色がいつまでも心に残っています。

内野 訓子



馬向華さん

2009年度 子ども絵画優秀絵画 タイトル：わたしの夢

『私の夢』と題する各国からの作品は、どれも個性的で私たちにも夢を与えてくれます。105枚の入賞作品を、7月にはJICA地球ひろばで披露致します（詳細7ページ）。ここでは紙面の関係上6作品だけをご紹介しますが、入賞作品は2011年度のカレンダーとなって販売も致します。本年度の応募要項については8ページをご覧ください。



<セネガル国旗の船で世界を回りたい>



<ベトナムだけではなく地球上を飛びたい>



<ゾウさんに乗ってアフリカを回りたい>



<おじいちゃんのうなぎ屋さんを継ぎたい>



<ピアニストになりた〜い>



<インテリアコーディネーターになりたい>

2010 年「手を洗おう会」の催しもの&会費納入のお願い

セネガル事情を聴く会

日程： 6月24日（木曜日）
時間： 午前9時半開場 10時開演
場所： JICA 地球ひろば（日比谷線広尾駅3番出口）202号室
講演者：高松章二氏、ンジャイ林 恵美子氏
会費： 1,500円

子供絵画展示会

セネガル・ヴェトナム・南アフリカや日本など6カ国の子供達が
「私の夢」というテーマで描いたオリジナリティに富んだ絵画105点を展示。
夏休みの一日をご家族でお楽しみください。
日程： 7月20日～8月1日 2週間（月曜日は休館）
時間： （平日）10時～20時 （土・日）10時～18時
場所： JICA 地球ひろば（日比谷線広尾駅3番出口）
—7月25日は11時より15時まで様々な楽しいイベントがあります—

2010 年 冬の祭典

時： 11月8日（月曜日） 12時～15時
於： 恵比寿ウェスティンホテル
会費： 10,000円

会員の皆様へ

いつも「手を洗おう会」へのご協力感謝いたします。

*** 貴名義のゆうちょ銀行口座からお振り込みいただくと送料は無料となります。**

年会費:3,000円 *領収書が必要な方は9ページをご覧ください。

・振込口座：郵便局

記号 10080

番号 74878571

名義 テヲアラオウカイ

*** 貴方様のお名前にてお振込み下さい。**

会員&会員以外の皆様へ

<募金> “手を洗おう会” では、石鹸や洗浄機などをセネガルやヴェトナムの学校等に寄付する資金を募っております。上記の口座にお振り込み頂きますようお願い致します。

手を洗おう♪ 幸せのために♪

2010年 カルチャー活動のお誘い

韓国宮廷料理教室、フランス語教室、シャンソン教室、鳥居坂短歌、スクラップブック
ング教室（思い出の写真でアルバム作り）、ピラティスの会が活動中です。参加希望の方はカル
チャー担当；内野訓子 3704-1229 までご連絡下さい。

中級フランス語の生徒募集

フランス語のクラスでは生徒を募集しています。

下記の場所で毎週月曜日に授業があります。

先生：フローランス・デュボー

場所：青山生涯学習会館（午後1時より）

ご興味のある方は御一報ください。

楽しい授業が貴女を待っています。



ピアノコンサートのお知らせ

時：7月27日(火曜) 午後1時開場

場所：サロン・ドゥ・カヨコ

チケット：3,000円

お問い合わせ先：星 直代

Fax&Tel: 03-3267-7699

主催：サロン・ドゥ・カヨコ

韓国宮廷料理 第二回午餐会

時：8月30日(木曜) 11時半～

場所：韓 妙子先生宅

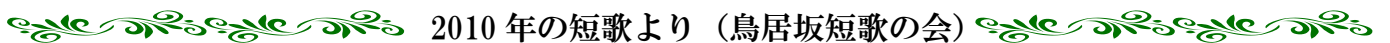
会費：5,000円

フランス料理での新年会

時：1月13日(木曜) 10時半～

場所：土屋のり先生宅

会費：5,000円



2010年の短歌より（鳥居坂短歌の会）

- ☆ 肉食（は）むを ためらわざりし 吾なれど 全頭殺の 報に悲しむ
- ☆ 朝日さす 紅茶をつぐと 音がする 静かに聴いて 今日が始まる
- ☆ 孫抱けば 心臓の鼓動 トクトクと 我に伝わる ぬくもりと共に
- ☆ ザビエルの ゆかりの丘を 訪ねれば 遥かにかすむ マラッカ海峡
- ☆ カトレアの 美しき花に 思いはす 命をつなぐ DNAの不思議
- ☆ ピカピカの ランドセル背に はしゃぐ児を 祝うかのよう 桜花舞ふ

2010年 子供絵画募集

“手を洗おう会”では本年もセネガル、ヴェトナム、フランス、南アフリカ
タイ、インドネシアそして日本などの小学生から楽しい絵を募集しています。

対 象 ：セネガル、ヴェトナム、フランス、南アフリカや日本などの小学生
題 ：私の町
画用紙サイズ：八つ切り（A3も可）
画 材 ：色鉛筆、絵の具など何でも可
締 切 日 ：2010年9月30日（木曜日）



会計報告

<手を洗おう会収支表>

2009年1月～12月

【収入】 科目	摘要	金額
年会費	2009年度会費 @3,000円×6名 中途入会 6名	¥25,500
	2010年度会費 @3,000円×89名	¥267,000
会費その他	二胡コンサート(‘09年6月15日大倉山記念館にて97名参加)	¥244,441
	冬の祭典(‘09年11月10日ウェスティンホテルにて183名参加)	¥1,012,118
	カレンダー売上	¥107,750
寄附	カルチャー活動部より10万円 その他寄附 利子	¥144,194
収入計(①)		¥1,801,003
【支出】 科目	摘要	金額
活動費	セネガル支部(内訳)石鹸代・画材費・ジャベル代等	¥311,500
	ヴェトナム支部(内訳)石鹸代・ジャベル代等	¥100,000
郵送費	絵画・絵葉書・会報等郵送料	¥25,750
事務用品費	ファイル・賞状・インク代等	¥56,897
コピー代		¥1,730
支援金	ベトナム&セネガルの青年協力隊への立ち上げ支援金確保	¥200,000
会場費	スタッフ会議等会場費	¥1,800
手数料	振込手数料(海外への送金)	¥6,490
カレンダー作成	2010年度カレンダー(子供絵画使用)	¥121,544
雑費	飲料・パネル代・JICAロッカー年間賃料等	¥33,385
支出計(②)		¥859,096
収益(①-②)		¥941,907
		¥941,907

(会計)村上 (監査)武井

カルチャー部門の振り込みは下記にお願いいたします。

振込先： 三菱東京UFJ銀行 上北沢支店 (160)

口座番号 0017655

テヲアラオウカイ ムラカミ ノリコ

*会費納入は7ページをご覧ください。

*領収書の必要な方は右担当までご連絡ください。村上範子 Tel:03-3329-3290

<会報係から>

皆様のご協力のお陰をもちまして、会報も第七版となりました。

これからも会員の皆さまに眼を通していただけるような会報作りに努めてまいります。

エクゼクティブメンバーの武井悠美子さんの長兄・川原正紀様が突然ご逝去されました。

ご冥福をお祈りいたします。